

武庫川流域委員会 第 1 回まちづくり WG 会議議事概要

050202

17 時～19 時半 宝塚土木事務所にて
文責 田村

出席者：伊藤委員、草薙委員、酒井委員、佐々木委員、長峯委員、田村委員

議 題： 1 . まちづくり WG の成果目標案

治水計画検討のための土地利用動向等要素分析、評価

- ・土地利用の現状分析と将来動向を踏まえ、流域総合治水のための条件分析を行う。
- ・武庫川に負担をかける要因の把握、ゾーンの把握と分析、対応案の検討。

治水、利水、環境等分野とまちづくり分野の一体的検討

- ・治水、利水、環境等を横断的かつ総合的に検討する役割をになう。
- ・縦割り組織による矛盾やギャップを明らかにし、総合治水として本来の目的を達成するための工夫や提案を行う。

総合治水対策の一環としてまちづくり分野のあるべき姿

- ・流域総合治水の一環として、都市側で可能な対応策の検討、提案を行う。
- ・ため池の活用策を検討する。

上流域、中流域、下流域の連携策等の提言

流域、沿川情報の共有化

武庫川の川づくり理念

- ・市民の視線から川づくりを考える。安全安心の川づくりを目指す。
- ・市民の理解と協力が得やすい、わかりやすい川づくりとプロセスを目指す。
- ・個性を活かし魅力ある川づくりを流域として考える。

その他

- ・流域委員会として限られた時間内でできることと継続的に取り組む課題を区分して検討する。例えば NPO 等による活動。

2 . まちづくり WG の取り扱う範囲

総合的視点からの検討

- ・武庫川流域総合治水及び川づくり等検討対象項目案 （050131 田村資料参照）

とくに本 WG で検討、提言する項目

3. まちづくりワーキングG 調査検討のための必要資料

必要資料リスト案

- ・まちづくりWG 調査検討案 (050202 田村資料参照)
- ・流域全体の分析は 1/5 万図、沿川状況分析は 1/1 万図、その他必要に応じ市街地は 1/2,500 図で検討する。図面の収集は県に依頼する。

資料収集の現状と今後の補完について

- ・今後資料の精査、補完の必要性を検討し、県に依頼する。

4. 今後のWG の進め方、分担等

共通資料の保管場所は、宝塚土木事務所の一般閲覧コーナー

作業や会議場所は原則、宝塚土木事務所会議室とするが、占有はできないため事前予約で使用可能の場合対応をお願いする。

WG の当面の作業として以下を具体化する。

- ・各市の都市計画行政と武庫川の関わりについて総合ヒアリングを行う。
各市の都市計画、緑の基本計画、景観基本計画等について、WG が事前に資料等分析後担当者に集ってもらいヒアリングによる意見交換を行いたい。
県を通じて実施する。
- ・各市の総合計画と武庫川の関わりについてもヒアリングを行う。
- ・武庫川に沿川地域に関わる“生き字引”にヒアリングを行う。
- ・武庫川の現状及び沿川地域の状況を効率よく調査する。
委員会やリバーミーティングの開催日に合わせて現地調査を実施する。
- ・以上についてスケジュールを調整する。
- ・他WG との調整等を行う。

	0 前提条件	1 現況調査・分析	2 計画条件・課題整理	3 分析・評価	4 基本方針 5 整備計画
A 全般 に関 わる 調査	A - 0	A - 1 関連計画・事業計画 県総合計画 沿川市総合計画 沿川市都市計画 MP 沿川市緑の基本計画 沿川市環境基本計画 沿川市景観基本計画 中心市街地活性化基本計画 水の MP、桜つつみ整備事業等	A - 2 社会経済の動向	A - 3 基本理念 基本理念検討に関わる 資料 市民の視線から見た個 性と魅力ある川づくり 上中下流の連携と協働 等	
B 河川 に関 わる 調査	B - 0	B - 1 河川の現況と沿革調査 河川空間の土地利用状況 防災施設整備状況 河川空間の景観、風景 河川空間の利用、需要状況 河川空間の法適用状況 河川に関わる伝承、民話等 利水の現状、水利組合等 武庫川に関わる活動グループ 武庫川を知ろう、武庫川大探検	B - 2 河川カルテと課題整理 河川空間利用需要予測資料 武庫川のゾーニング関連資 料	B - 3 分析・評価	B - 4 河川整備基本方針 B - 5 河川整備計画
C 流域 沿川 地域 に関 わる 調査	C - 0	C - 1 地域条件調査 分割流域毎の土地利用面積現況 連携活動母体の状況 分割流域毎のオープンスペース 環境保全協議会等 面積現況（公園、学校、駐車場等） 内水排除施設の状況 流域のため池現況 武庫川に関わる生き字 森林、保安林等の状況 引きヒアリング 流域の開発動向、開発ポテンシャル 武庫川マイスターリスト 沿川地域の地域資源と分布 沿川地域の景観、風景 沿川地域のハイキング道、散策 ルート、歴史街道、自然歩道等 沿川地域の観光、レクリ資源 沿川地域の法規制状況 沿川地域の関連事業・計画 沿川地域の社会条件 武庫川へのアクセス条件 流域環境学習活動場所とコース	C - 2 課題整理と地域カルテ	C - 3 分析・評価 分割流域毎の将来土地 利用	C - 4 周辺地域整備への 提案

分析図面： 武庫川流域全体 1/50,000 沿川状況把握 1/10,000 その他重点地区 1/2,500 等適宜縮尺図を使用。

武庫川流域総合治水及び川づくり等検討対象項目（案）

まちづくりWG 050131 修正案 田村博美

注：以下の表は、今後武庫川に関わる検討対象項目として考えられるものを掲げたものである。1は本委員会で治水計画の一環として検討されたい項目、2は本委員会で川づくりの一環として取り組まれたい項目、3は本委員会に引き続き今後中長期的に取り組むべき項目として提案する。

凡例：関連分野 治水（治） 利水（利） 環境（環） 景観（景） 利活用（活） 教育（教） 防災（防） 情報（情） 総合（総）

	1 環境基盤（土、水、緑）	2 環境表層（オープンスペース、施設）	3 市街地、建築物、工作物等	4 ライフスタイル、ソフト施策等
A 流域沿川地域	A-1 1 A-1- 山林保全、整備、育成（治）（総） A-1- 農地、田園保全、育成（治）（総） A-1- その他緑地保全（治）（総） A-1- 開発規制誘導（治） A-1- 小流域単位の保全（治）（環） A-1- 表土保全、土砂流出抑制（治） A-1- 内水排除施設整備（治）	A-2 1 A-2- ため池保全、改修、掘削（治） A-2- ため池治水利用施設化（治） A-2- 雨水貯留浸透施設（治） A-2- 透水性舗装（治） 2 A-2- ビオトープ整備（環）（教） A-2- 景観風景保全、育成（環）（景） A-2- 湧水保全（利）（活） A-2- 湿地保全（環） A-2- 流域散策、ハイキングネットワーク、文化施設、文化財ネットワーク（活）（教） A-2- 雨水、下水処理水等水循環システム（活）（環） A-2- 沿川動植物環境保全育成（環）（教）	A-3 1 A-3- 防災調整池（治） A-3- 各戸貯留（治）（利） A-3- 棟間貯留（治）（利） A-3- 学校貯留（治）（利） A-3- 公共公益施設貯留（治）（利） A-3- 多目的遊水地（治） 2 A-3- 宅地嵩上げ（治） A-3- 輪中堤（治） A-3- 建築ビロイ化等（治） A-3- 河畔整備事業等（活） 3 A-3- 屋上緑化（治）（環） A-3- 利用、誘導サインシステム（活）（総） A-3- 市街地景観保全育成（景）	A-4 2 A-4- 沿川地域のまちづくり理念、テーマ、地域のシンボル資源として活用（総） A-4- 武庫川流域連携組織（総） A-4- 武庫川なんでも塾（歴史文化、民話、自然、災害、治山治水等）（教）（総） 3 A-4- 流域森林育成組織（治）（環） A-4- 流域情報ネットワーク（総） A-4- 流域情報データベース（情） A-4- 武庫川マイスター制度（教）（総） A-4- 武庫川総合行政システム（治）（活）（環）（教）（防）（情）（総） A-4- 沿川地域と河川を一体とした、条例や憲章（総）
	B-1 1 B-1- 河川改修（掘削、引提、嵩上げ等）（治） B-1- 遊水地（治） B-1- ダム**（治） B-1- 河川整備事業コスト比較と評価（治）（総） 2 B-1- 利水（利） B-1- 水質保全、浄化（利）（環）	B-2 2 B-2- 貴重種保全、環境保全（環）（教） B-2- 景観風景保全、育成（環）（景） B-2- 景観木 樹林等保全整備（環）（景） B-2- ビオトープ整備（環）（教） B-2- 近自然河川整備（環）（景） B-2- 親水空間整備（環）（教）（活） B-2- 河川敷地包括占用許可（活） B-2- 河川空間の有効活用（活） B-2- 桜つつみモデル事業等（活）（景）	B-3 2 B-3- 非常時防災施設整備（防） 3 B-3- 河川立体区域制度（活） B-3- 補助スーパー堤防（治）（活） B-3- 橋梁デザイン配慮（景） B-3- 護岸等地域資源素材活用とデザイン配慮（環）（景） B-3- 利用、誘導サインシステム（活）（総）	B-4 2 B-4- 防災避難システム（治） B-4- 河川環境学習（環） B-4- 河川レンジャー等（治）（活）（環）（教）（防）（情） B-4- 河川空間での各種イベント（活）（環）（教）（総） B-4- 河川空間での施設、レクリエーション（活）（環）（教）（総）

注： * 上記対応項目と主に関連すると考えられる分野、 ** 必要とされた場合